
平成23年度事業報告・決算（財務諸表）を承認

～第3回理事会・第2回評議員会～

去る6月12日、徳島市アスティとくしまにおいて、第3回理事会を開催し、平成23年度事業報告及び決算（財務諸表）を承認しました（理事23人中16名、監事3名中2名出席）。



事業報告では、継続実施となった介護予防リーダー養成研修や、新たな取り組みとして行った、修了生に対し行ったスキルアップ研修、平成22年度から実施している自殺予防の事業において、民生委員等関係機関との懇談会を開催し、今後の連携の重要性を確認できたことなどを報告、また東日本大震災被災者に対する支援として、本会が取り組んだ義援金と「元気袋」の製作についても報告しました。

決算は、収支計算書とあわせて、正味財産計算書や貸借対照表、財産目録により平成24年3月末現在の財務状況について報告。松家監事からは適正な処理を証する監査報告が行われました。

（各事業毎の実績、決算の詳細については、左メニュー欄から「徳島県老連について」→「情報公開」と進み、「平成23年度事業報告」または「平成23年度決算」をご覧ください）

会議では、その他、勝本妙子 元女性委員長の退任に伴い、兼務となっていた県老連副会長の後任に、宇山久子 女性委員長を選任したこと、8月末開催予定の敬老県民のつどいで行われる、「県老連会長表彰」の被表彰者の決定等が決議されました。

第3回理事会において招集が決議された定時評議員会が、6月27日、徳島市のあわぎんホールにおいて行われ、平成23年度事業報告及び決算（財務諸表）、役員（理事・監事）及び評議員の補欠選任等を承認しました（理事23人中16名、監事3名中2名出席）。



開会にあたって、出席評議員の中から、小松島市 山崎評議員を議長に選任、あわせて、石井町 河野評議員、板野町 増田評議員を議事録署名者に選任しました。

議題に入り、理事会で承認を得た「平成23年度事業報告」を報告し、「平成23年度決算」を原案とおりに決議しました。

続いて、役員及び評議員の補欠選任に入り、役員等9名の辞任等に伴い、その補欠として、下記9名を新たに役員等として選任しました（任期は前任者の残任期間）

※敬称略

役員（理事）	山内 節（鳴門市）、羽里 敬子（美波町）
	本木 善訓（県老連）
役員（監事）	三浦 文昭（徳島市）
評議員	吉積 義幸（阿南市）、石井 義明（三好市）
	松下 高雄（上勝町）、豊村 啓輔（板野町）
	橋本 博夫（美波町）

上記の他、規程の一部改正を原案とおりに決議するとともに、約1週間後と迫った「中国四国ブロック老人クラブリーダー研修会」の概要及び準備状況について説明しました。